

いつまでも「選ばれるまち」であり続けることを目指して

開発着手から40年が経過した若葉台。この素晴らしいまちを“将来にわたって持続させる”ことを目的として、このたび「横浜若葉台マスタープラン策定委員会」を発足し、2月10日に第1回、4月20日に第2回委員会を開催いたしました。

委員会は学識経験者、地元住民団体、公社、まちづくりセンターで構成し、オブザーバーとして行政も参加しています。年内策定を目指し委員会を運営していきます。

斬新なコンセプトのもと開発された若葉台は、現在でもなお当時の理念が継承され、住民参加によるまちづくりとあいまって多くの魅力や特徴が残されています。一方、人口減少や少子高齢化など、当時は想定しなかった様々な課題が生じてきています。



↑3-6号棟施設会議室にて開催されました。

第1回 若葉台の課題整理

平成28年2月10日

第1回委員会では、基礎的データを整理し現状と課題について共通認識を得ました。

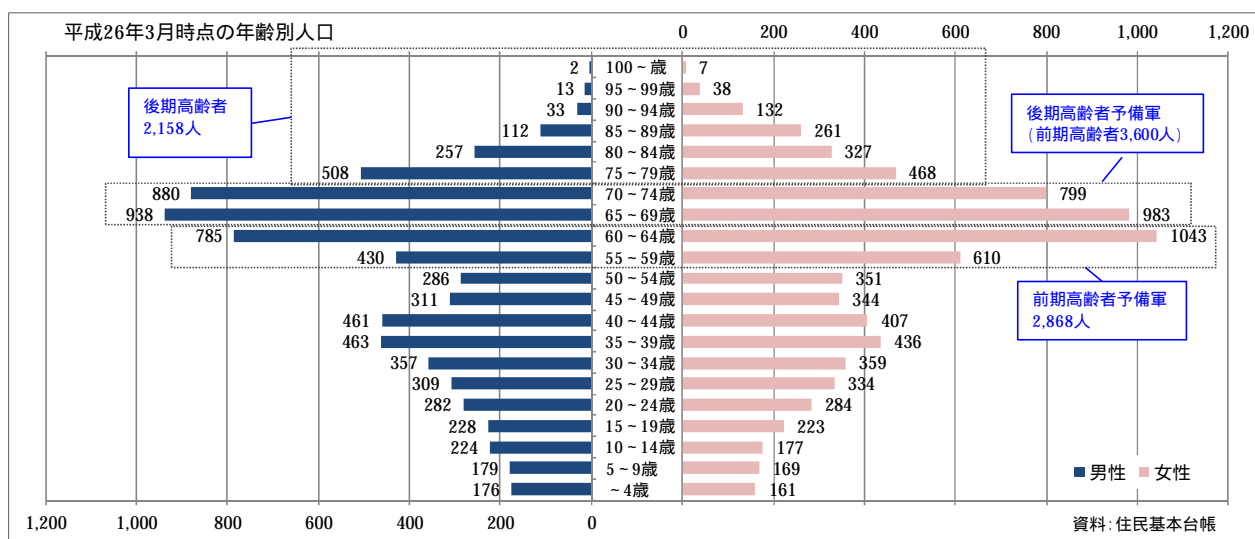
若葉台は今後人口減少及び高齢化することが予想されます。これらの現状分析によるデータを踏まえ、各委員及び横浜市から所属組織の活動内容を基に委員会での検討要望項目や意見をいただきました。

第2回 課題のグループ分け

平成28年4月20日

第2回委員会では、第1回で整理した課題及び委員から出た意見を元に課題をグループ分けしました。

各グループに対して若葉台で既に取り組んでいる活動を洗い出し、各委員から実際に活動する上で感じていることや将来課題として考えられる事項について意見をいただきました。



今回は7月上旬を予定し、課題の長期短期等の時間軸、地域資産の整理等を行います。

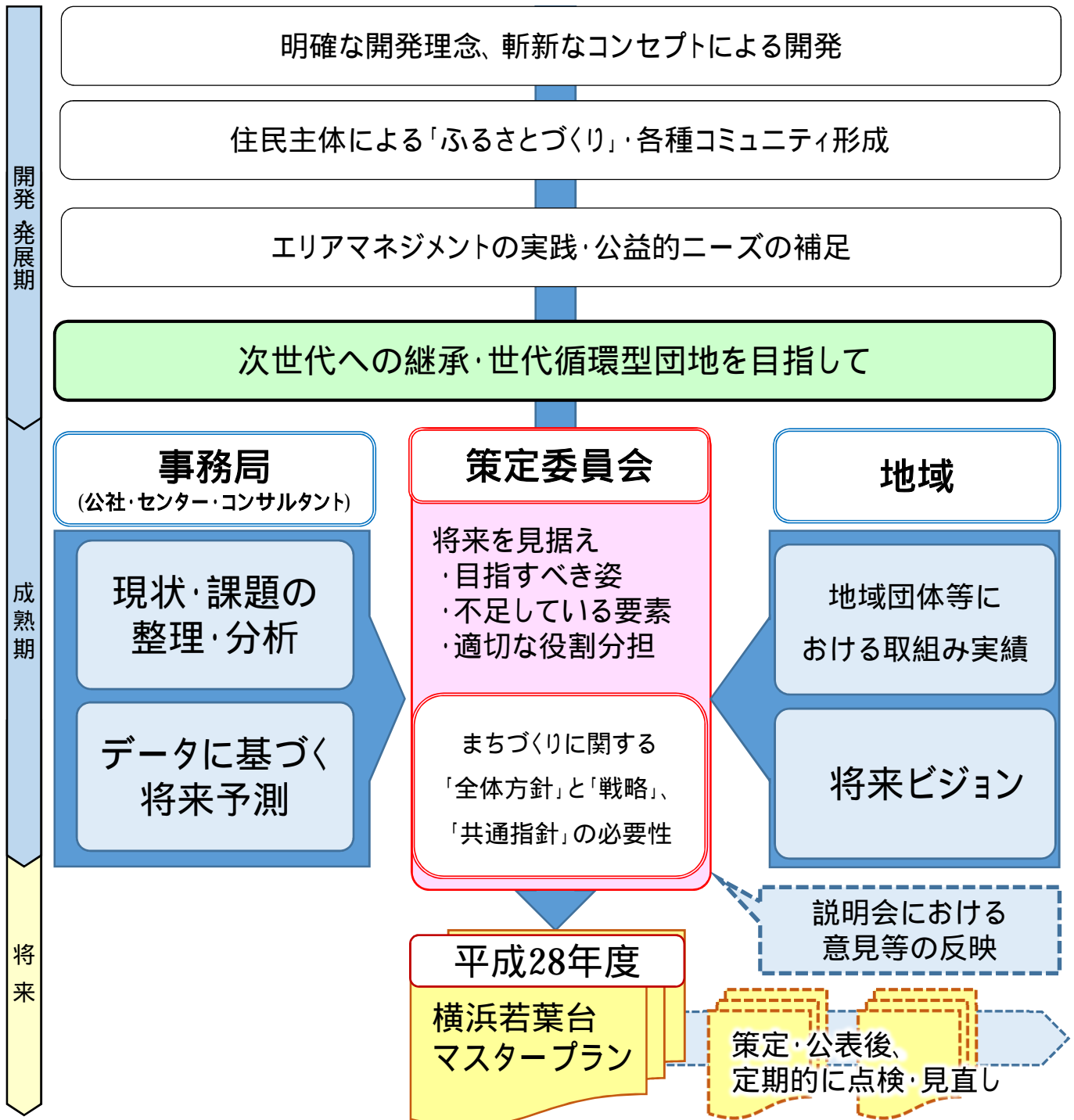
マスタープランの役割

団地創設以来の大きな将来変化に対して、これまでの多様な活動を効果的に関係づけ、今後の取組み事項を抽出し、団地が向かうべき全体方針・戦略としてマスタープランを策定いたします。

次世代に選ばれるまち・住まいをつくるための戦略

関係主体全員によるまちづくりの目標・方針の共有化

次世代へ、団地の魅力やまちづくりの目標・方針等を受け継ぐ



ご意見等ございましたら、若葉台まちづくりセンターホームページのお問い合わせページもしくは委員会事務局公社担当(団地再生事業部事業企画課045-651-1957)まで。(策定委員会事務局)
 若葉台まちづくりセンター: <http://www.wakabadai-kc.or.jp/> 神奈川県住宅供給公社: <http://www.kanagawa-jk.or.jp/>